

令和4年度 動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査結果 **【中間報告】**

(令和4年12月31日現在)

1 犬と猫の寄生虫調査

- (1) 検体採取期間 令和4年4月から令和4年12月まで
- (2) 対象及び規模 ①犬8頭(延べ検体数8)、猫33頭(延べ検体数62)の糞便
②犬8頭、猫8頭の虫体確認
- (3) 方法 ①直接塗沫法及び飽和食塩水浮遊法による糞便中の虫卵の同定
②解剖検査による心臓内及び消化管内における虫体確認と同定
※動物愛護相談センターで虫卵及び虫体の同定が困難な場合は、健康安全研究センター微生物部病原細菌研究科寄生虫研究室に同定の協力を依頼する。

(4) 結果

① 糞便検査(虫卵)

| 対象 (延べ検体数) | 陽性頭数 | 内 訳 | | | |
|----------------|------|-----|--------------------|--------------------|--------|
| | | 回虫 | イソ ^ス ラ属 | 条虫(エキノコックス含む) | 鞭虫、鉤虫等 |
| 犬8頭 (8検体) | 1 | 0 | 0 | 0 | 鞭虫1 |
| 猫33頭 (62検体) | 11 | 6 | 8 | 瓜実条虫1 マンソン裂頭条虫1 | 糞線虫1 |

糞便検査を実施した猫のうち、5頭で寄生虫の重複感染を認めた。内訳は、猫回虫及びイソスポラ属の感染が3頭、イソスポラ属、マンソン裂頭条虫及び糞線虫の感染が1頭、猫回虫及び瓜実条虫の感染が1頭であった。

② 解剖検査による虫体確認

| 検体 | 陽性頭数 | 内 訳 | | | |
|-----|------|------|----|---------------|--------|
| | | 犬系状虫 | 回虫 | 条虫(エキノコックス含む) | 鞭虫、鉤虫等 |
| 犬8頭 | 3 | 2 | 0 | 瓜実条虫1 | 0 |
| 猫8頭 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

複数の寄生虫類に感染していた個体はなかった。

2 狂犬病ウイルス検査のための安全で簡便な検体採取方法の検討

今年度、犬8頭、猫8頭を用いて、狂犬病の検体採取を行った。検体採取は、DVD教材「狂犬病検査に必要な解剖方法(安全で簡便な脳の取り出し方の一例) Ver2」に基づいて行い、技術の習得と向上を図ったが、新たな方法の検討には至らなかった。